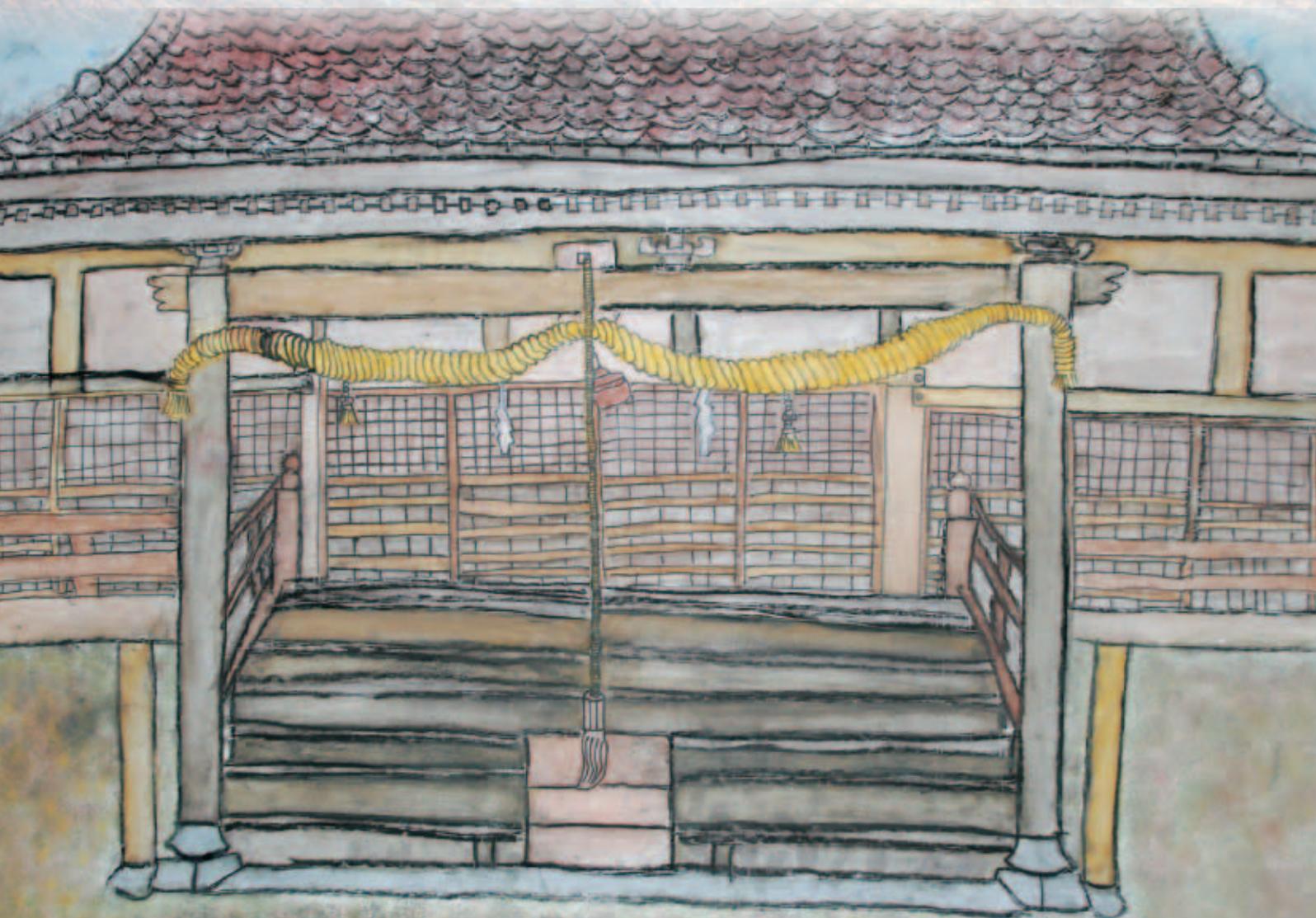


人 輝く・安芸高田



議会だより

今回の題字は、^{はやし} ^{じゅん} ^{べい} 林純平くん(刈田小学校6年生)です。



表紙の絵は、^{おくだ} ^{みどり} 奥田 翠さん(向原小学校5年生 当時4年生)です。

平成21年度安芸高田市吉田歴史民俗資料館主催絵画コンクール「文化財を描こう」文化財保護審議会長賞
(現 安芸高田市歴史民俗博物館)

委員会改選…………… 2～3

12月定例会…………… 4～5

13人が市政を問う… 9～15

議会報告会…………… 16～19

地域のかがやき…………… 24

第28号

2011(平成23)年 2月 1日発行

再スタート 22年12月~ 目指して~

市民の付託に応え信頼される議会の構築を目指す活発な委員会活動に期待する。



議長
藤井昌之

文教厚生常任委員会

〈所管〉市民部、福祉保健部、福祉事務所、教育委員会



山根温子
児玉史則
委員長
青原敏治
金行哲昭
副委員長
穴戸邦夫
水戸眞悟
塚本 近

総務企画常任委員会

〈所管〉総務企画部、会計課、議会事務局、選挙管理委員会、監査委員、公平委員会、固定資産評価審査委員会、消防本部



今村義照
先川和幸
委員長
秋田雅朝
山本 優
副委員長
前重昌敬
赤川三郎
藤井昌之

議会広報特別委員会

議会と市政に対する理解を深めるため、議会の活動状況、審議内容を広く市民の方々に周知する。



山本 優
水戸眞悟
委員長
穴戸邦夫
前重昌敬
副委員長
石飛慶久
和田一雄

ひとくちメモ

- 議長・副議長の任期
議員の任期によるとされており、通常4年。（地方自治法第103条2項）
- 常任委員会の任期
安芸高田市は「委員会条例」第4条により2年と定めている。
- 議会運営委員会の任期
常任委員会の任期と同様に2年。
- 特別委員会の任期
委員会に付議された事件が議会において審議されている間在任する。審査・調査が終了すれば消滅する。（地方自治法第110条2項）

開かれた議会を目指し今年も議会報告会を予定し、皆様
の声を市政に反映します。



副議長
塚本 近

新たな構成で ～議会改革を

議会運営委員会

定例会・臨時会の会期の調整や日程事項など、議会運営の全般について協議、意見調整を図る。



委員長
秋田雅朝
金行哲昭
副委員長
青原敏治
大下正幸
入本和男
今村義照

産業建設常任委員会

〈所管〉産業振興部、建設部、公営企業部、農業委員会



委員長
石飛慶久
入本和男
副委員長
大下正幸
和田一雄
前川正昭
亀岡 等

葬斎場建設調査特別委員会

委員長 赤川三郎
副委員長 秋田雅朝 (議長を除く全議員)

監査委員

今村義照

芸北広域環境施設組合議会

前川正昭 秋田雅朝 青原敏治
入本和男 藤井昌之

広島県後期高齢者医療広域連合議会議員

青原敏治

議会改革特別委員会

議会報告会の開催、議員定数のあり方、議員報酬の見直し、政務調査費について協議。



委員長
前重昌敬
山根温子
副委員長
石飛慶久
先川和幸
大下正幸
児玉史則

12月定例会

12月定例会を12月8日～21日までを会期として開催。

一般会計補正予算など18議案について質疑・答弁があり、すべて原案のとおり可決。

各常任委員会へ付託した条例などの4議案は、すべて原案のとおり可決。(各常任委員会の審査は6～8ページに掲載)

一般質問では、13人が市政を問う。(9～15ページに掲載)



給食センター4月1日稼働

一般会計補正予算

9203万円追加

(総額 242億7197万円)

可決

歳出の主な補正内容

- 障害者自立支援訓練等給付事業費 (社会参加推進を目的とし、自立を支援するための訓練等実施) 7395万円
- 庁舎管理費 (窓口業務のワンストップ化に向けた改修工事) 2600万円
- 乳幼児医療公費負担事業費 (小学6年生までの医療費公費負担) 555万円
- 集落営農推進事業費 (農業機械など整備支援) 1636万円
- 給食センターの運営に要する経費 1696万円

歳入の主な補正内容

- 市税 固定資産税 (新築家屋の増) 800万円
- 国庫支出金 (自立支援訓練等給付費負担金など) 2885万円
- 繰越金 (21年度からの繰越金) 1億3003万円

質疑

一般会計補正予算

水戸 有害鳥獣捕獲班員の高齢化が進んでいるが、対策は。

大野産業振興部長

班員108名のうち最高齢84歳、最年少34歳で、平均年齢は64歳。今年度から狩猟免許取得補助制度を創設し、2名が新たに活動に従事している。

今村 ワンストップ

化に伴う予算内容は。

武岡行政経営課長

窓口サービス向上に向けた会計課の移と案内標示の改修等。

入本 学校教育振興費の需用費、備品購入費は。

田丸教育次長 小学校の教科書改正による教師の指導書の購入にかかる経費。

議会改革特別委員会を設置

委員長 山根温子 副委員長 先川和幸

ねらい 市民から見えない議会の脱皮へ

趣旨 ・ 議会報告会の開催 ・ 議員定数のあり方
 ・ 議員報酬の見直し ・ 政務調査費
 について議論する

■ 議会改選1年前の23年11月を目途に方向性をまとめる

議員発議 国への意見書提出を可決

◎ごみ減量と循環型社会実現に向けた取り組みを求める意見書

内容 リサイクルに積極的に取り組むほど、収集運搬・分別・保管のための費用が自治体の財政を圧迫する仕組みを改善すること。(例えば、繰り返し利用可能な容器の利用促進など)

◎ TPP (環太平洋戦略的経済連携協定) 交渉に反対する意見書

内容 例外なき関税撤廃を原則とする連携協定は、わが国の特に食糧・農業・農村に大きな打撃を与える。このことは農業だけでなく一次産業全体が衰退し、地域経済など活力が減退するため、TPP交渉には参加しないこと。

<p>反対</p> <p>前重、 児玉、 山本</p>	<p>塚本、 入本、 今村、 亀岡、</p>	<p>赤川、 青原、 金行、</p>	<p>宍戸、 前川、 秋田、</p>	<p>水戸、 先川、 山根、</p>	<p>石飛、 大下、 和田、</p>	<p>賛成</p> <p>賛成多数で可決</p>	<p>採決</p>	<p>賛成</p> <p>なし</p>	<p>反対</p> <p>TPP参加による貿易拡大と経済成長は、日本や本市にとっての効果は大きいと思われる。</p>	<p>討論</p> <p>(TPP交渉に反対する意見書)</p>
--	------------------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	----------------------------	---------------------------------	------------------	----------------------------	---	---

ひとくちメモ TPPとは 環太平洋戦略的経済連携協定

2006年より発効された、ニュージーランド、シンガポール、チリ、ブルネイの環太平洋4カ国による自由貿易協定。2015年までに、工業製品、農林水産物、金融、サービスなどの取引の関税撤廃を目指す。米国、オーストラリア、ペルー、ベトナム、マレーシアも参加表明。

■ 提出先：内閣総理大臣、内閣官房長官、関係省庁の大臣

総務企画常任委員会

12月定例会で付託された議案2件を、12月14日に委員会を開き慎重に審査した。

(主な審査)

- 安芸高田市事務分掌条例の一部を改正する条例
- 安芸高田市職員の定年等に関する条例の一部を改正する条例

- 委員長 秋田雅朝
- 副委員長 前重昌敬
- 委員 先川和幸
- 山本 優
- 赤川三郎
- 今村義照
- 藤井昌之

概要

事務分掌条例一部改正

積極的組織改編？ 市民への周知は？

- 総務企画部を総務部と企画振興部の2部とし情報化推進室を情報政策課に名称変更。
- 福祉保健部高齢者支援室を廃止し高齢者福祉課へ統合。
- 建設部水道課と下水道課を統合。

質疑

先川 総務部と企画振興部に分け、課の名称も、政策企画課と情報政策課では、市民にわかりにくい。

清水総務企画部長

新設の企画振興部は、部の中に振興施策推進の課が含まれており、振興の名称を入れていく。また、情報政策課は、地域情報化の整備やデジタル政策等の情報政策プロジェクトを担当しているため情報政策課としている。市民への周知を図る。

今村 今の総合計画の中で新たに出てきた政策、施策はないが、組織改編の説明

をすることが必要なのでは。

行政の組織編成や機構改革への固定観念でなく、社会情勢が変わり、市長が施策を掲げ、それを基にその都度見直しを図りながら行うのが基本と考える。現状に合った組織編成ということで理解いただきたい。

藤川副市長

市民にわかりやすい表示を



市民にわかりやすい表示を

概要

職員定年条例一部改正

職種に関係なく 全ての職員を60歳定年へ

- 給食センター設置に伴う給食調理員の職種転換に伴い、調理員の定年年齢を60歳に改める。
- 行政職転換者と調理員の職にとどまる者の定年年齢に逆転現象が生じないように経過措置を設ける。

質疑

前重 給食調理業務は保育所の3歳未満児の調理が残ると思われるが、調理員の雇用計画について今後の採用も含めての考えは。

沖野総務課長

フルに1週間従事するだけの業務量があるかが課題となっている。正規職員を配置しなくても可能な現場と推測できるので、非常勤特別職員を活用しての対応を検討している。

文教厚生常任委員会

12月定例会で付託された議案2件、要望1件を、12月15日に委員会を開き慎重に審査した。

(主な審査)

- 安芸高田市福祉施設新設奨励条例
- 安芸高田市給食センター設置条例

- 委員長 青原敏治
副委員長 穴戸邦夫
委員 児玉史則
委員 水戸眞悟
委員 山根温子
委員 金行哲昭
委員 塚本近

福祉施設新設奨励条例

住みなれた地域で安心して暮らし続けるために

概要

市内に福祉施設を新設しようとする者に所要の奨励措置をするもので、固定資産税の額に相当する額を3年間各年度300万円を上限に交付するなど。

質疑

水戸 企業立地奨励条例との整合性は、予算措置状況は。

岩崎高齡者福祉課長

企業立地奨励条例を参考に、土地取得奨励金、新規雇用奨励金を交付するなど、措置を講ずるもの。予算はそれぞれ24年度からとなる。

藤川副市長 介護保険

設計画に基づく施設整備で、奨励条例による支援措置とともに、安定した管理運営を期待する。

穴戸 奨励条例に、

固定資産税の減免、免除規定適用は。

重本福祉保健部長

3年間に限定しての固定資産税の措置としている。

概要

市内各保育所の食事、幼稚園、小・中学校の給食の調理等を一括して処理する施設を設置。

質疑

穴戸・水戸 学校給食センター運営委員会の構成員とその役割は。

田丸教育次長 給食

センター運営委員会の委員は30名以内とし、献立の内容や給食会計の予算・決算など、年に2回程度の定例会議を開催する予定。

森川給食センター開設準備室長 構成員

は規則で定めるが、保育所・幼稚園・小中学校の保護者、学校医代表、小中学校長、保育所長、幼稚園長、養護教諭代表などとしている。

給食センター設置条例

4月1日の稼働に向けて

要望

◎高齢者が安心して暮らせる社会を実現するためにシルバー人材センターへの支援の要望

要 望 者 (社)安芸高田市シルバー人材センター
要 旨 高齢化が進む中、シルバー人材センターが求められる役割を十分に発揮し、高齢者が安心して暮らせる社会を実現していくために、補助金の削減をしないよう強く要望するもの。

■委員会で採択し、市に対して必要な措置をされるよう書面をもって伝えた。

産業建設常任委員会

12月定例会で付託された議案はなく、会期中に提出された要望書1件について、12月16日に委員会を開き慎重に審査した。そのほか、所管事務について4件の調査を行った。

(主な審査)

○TPP交渉に反対する意見書の採択について

委員長 入本和男
副委員長 和田一雄
委員 石飛慶久
委員 大下正幸
委員 前川正昭
委員 亀岡 等

要 望

◎ TPP交渉に反対する意見書の採択について

要望者 広島北部農業協同組合（JA広島北部）

要 旨 TPPに参加した場合、わが国の食糧・農業・農村に壊滅的な打撃を与える。TPP等をはじめとする自由化交渉は、農産物関税撤廃だけの問題ではなく、わが国の将来像に係わることであり、国土と産業の均衡ある発展実現のため交渉には参加しないこと。

【審査の経過】

■委員会で採択した。

質 疑

亀岡 11月29日の臨時会でEPA・FTAが否決となりまだ2週間にも満たない。この要望を議会運営委員会が受け、本委員会へ付託された経緯を伺う。

外輪事務局次長

TPPの関係は全国的な問題となっており、議長において緊急を要する案件と判断して議会運営委員会へ諮問した。議会運営委員会で協議した結果、審査の必要性が生じ、産業建設常任委員会へ付託となった。

【所管事務調査】

- 安芸高田市総合計画実施計画（22年度～26年度）掲載事業の内容について
- 高原病性鳥インフルエンザ発生に伴う安芸高田市の対応について（報告）
- 農事組合法人八千代ふるさと農園破産手続経過について（報告）
- 安芸高田市ふるさと応援の会（仮称）会員の募集について（報告）



TPPによる農業への影響は

13人が 一問一答 市政を問う



TPP

市としての考えは

市長／政府の動向を注視



和田 一雄
(日本共産党)

和田 TPPに関しての考えを伺う。

市長 政府の動向を注視し関係機関等と連携し取り組みたい。

和田 林業、木材産業の再生について市の状況は。

市長 林業機械等の搬入可能な作業道等新設し、生産供給体制の確立を図る。

和田 森林整備事業の現状は。

市長 今現在5事業

に取り組んでおり、引き続き官民協働による林業の振興に努めたい。

和田 「ナラ枯れ」

への対策は。

市長 状況を視察し広域連携による対策を考える。



多彩な味わい…ジビエ料理

和田 「シカ食害」対策に狩猟免許取得奨励を市職員へ。
市長 職員への免許取得は課題もある。

和田 「ジビエ」活用の加工施設は。

市長 猟友会と協議し前向きに考え、既存施設は活用したい。

※ジビエ＝フランス語で野生鳥獣肉の意。

水道管の連結を

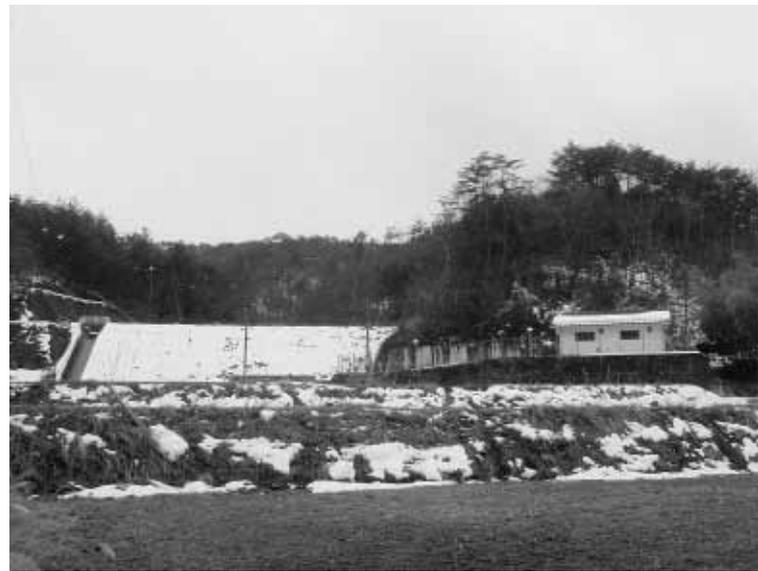
水道事業

市長／難しいが進めたい



穴戸 邦夫 (無所属)

穴戸 市民総ヘルパー構想の考え方を市民に示すべきでは。
市長 すでに生活サポート事業など取り組んでいるが、行政と市民との「自助」「共助」「公助」の役割分担が必要なの



水道施設統合を（稼地地区）

で、体系的に整備し、市民に示す考えだ。

穴戸 市内各所にある公共水道施設の統合と水道管の連結はできないか。

市長 難しいが大切なことであり、市民の協力のもと、県の指導を受けながら進めたい。

穴戸 甲立古墳の発掘調査状況を、ビデオなど音声にして記録し紹介しては。

教育長 考古学的価値が極めて高いと判断されており、解説付きで映像記録として残し、歴史民俗博物館やホームページで将来にわたって紹介していきたい。

で、体系的に整備し、市民に示す考えだ。



先川 和幸 (無所属)

先川 独居老人の安全対策は。

市長 先般向原町で独居老人の行方不明事件が起きた。再発防止に向け、従来の安否対策事業充実のほか、さらに的確な具体策を検討する。

先川 お太助情報キットの配付状況と全戸配布の考えは。

市長 現在「生活サポート事業」の利用者約200名に配付している。今後全戸配布するよう検討する。

先川 向原小中学校の学期制は。

教育長 二学期制を敷いて8年になる。向原高校が三学期制

危機管理

一人暮らし老人の安全対策は

市長／さらに的確な具体策を検討

に移行しており、今後保護者の意見も聞き早々に学校長が判断する。

先川 「広報あきたかた」の保存用ファイルの作成は。

市長 広報誌を保存し、必要な時読み返すことは行政情報の周知の面からも有意義である。今後デザインも含め前向きに検討する。



全戸配布される「お太助情報キット」

水戸 地域密着型サービス事業への本市の支援策の必要性と今後の取り組みは。
市長 企業誘致の観点に準じ「福祉施設新設奨励条例」を制定し、経営の安定、地元雇用の促進を図る。



水戸 眞悟 (絆)

高齢者福祉

積極的支援を

市長／奨励条例で対応

水戸 消防団再編計画による美土里方面隊第三分団詰所整備と、老朽化した北駐在所の合理的施設整備は。
市長 美土里方面隊第三分団詰所は、国道433号沿線の市有地に建設を計画。併せて駐在所の建設も警察本部と協議し、防犯防災救急機能を集約化したい。



建設中のグループホーム施設（美土里）

水戸 葬斎場建設計画に伴い、県道の危険箇所解消が急務と考えるが。
市長 本市にとって吉田邑南線は重要路線なので、葬斎場建設予定地周辺の県道改良は、歩道設置や日照改善などの対策に努力する。

石飛 ハイキングコース利用者からの苦情は。
市長 昨年度は「マムシ注意」の看板がない、倒木があるなどの苦情があった。
石飛 山頂付近へのトイレ設置の考えは。
市長 基本的な問題、管理上困らないトイレの設置を前向きに考えていきたい。



石飛 慶久 (無所属)

石飛 郡山城跡のハイキングコースの整備状況は。
市長 安芸高田市シルバー人材センターに委託し、管理されている。歴史的財産を未来創造支援計画とし検討中。

郡山城跡

トイレの設置は

市長／前向きに検討

石飛 多文化共生社会の構築に向けた取り組みの課題とプログラミングに必要なアイテムは。
市長 将来の福祉・

介護・農業・産業などの人材不足に対し、先を見据えた人材確保画必要で、その取り組みは言葉が課題となっている。



望まれるトイレ整備

行政評価

市民ニーズの反映が行政評価の原点では

市長／職員・市民・議会の行政経営感覚が重要



今村 義照 (あきの会)

市長 評価を行うという視点の中で欠けている点は成果をどうとらえるかであり、職員、市民、議会側が行政経営の感覚を持つことが重要である。

市長 23年度の主要施策、事業は。総合計画の実施計画に基づき、合併特例債を充当し、葬斎場の整備、学校の耐震化、向原町生涯学習センター、光ファイバー網の地域通信情報化推進が中心となる。

今村 行政評価の具体的な進め方は。市長 執行部、議会、市民の三者による評価がどうあるべきかを考え、市民に対する情報提供を着実に実施し、事業執行の前倒しも検討したい。

今村 市民ニーズがいかに行政に反映されているかをお互いが評価し合うのが最終目的だと考えるが。



行政評価データ

り、それにはもう少し時間がかかる。

いし ほとけ
石仏の改修は

いせき
井堰改修

市長／24年度で完成



金行 哲昭 (政友会)

金行 国の補正による社会資本整備総合交付金で、活力創出基盤整備等、魅力ある地域づくり支援交付金の配分は。市長 道路改良事業を進める。



改修を待つ石仏井堰

金行 小原地区基盤整備事業の進捗状況は。

市長 小原2期地区として取り組んでおり、全体工期は24年度完了を目指している。

金行 石仏井堰の改修は。

市長 22年度は実施設計を行い23年度で工場製作、24年度で旧堰撤去し新設する。総事業費は1億3500万円。

金行 地区外の道路、水路の整備は。市長 圃場整備事業においては困難である。

関係機関と連携を強
課題となっている。
関係もあり、今後の
択等検討。保護との
に對しては作物の選
衝帯整備など、食害
防衛対策としては緩
ては後継者の育成、
市長 捕獲対策とし

山本 被害増大の中
での予算措置と計画
は。限界集落地、人
口減の中での管理対
策は。捕獲方法とし
て特例対策は。捕獲
数と処理費のチェツ
クは。



山本 優
(絆)

鳥獣対策

捕獲数の チェツクは

市長／申請に基づき確認

化する。

山本 職員人事は、
長期短期的、地域的
な適材適所の配置が



捕獲されたイノシシ

考慮されるべき。ま
た、総合窓口の指定
管理委託には問題が
あるのでは。
市長 職員の配置に
は、全体としての割
合、職員の意見・意
思を確認しながら対
処している。委託は
法令順守を徹底した
内容にする。

網により、防災目的
など市民への情報伝
達手段の統一化を図
る。
市長 光ファイバー
方法と利用目的は。



山根 温子
(無所属)

将来的な負担 抑制の検討は

市長／慎重に検討

光ファイバー

山根 現在ADSL
でさえ利用率は25％
30％と低く、さらに
将来的な人口減少の
中でのランニングコ
ストの負担や、また、
有線放送は現在月額
1120円で利用で
きているが、これに
替わる光ファイバー
での利用者負担抑制
の検討は。



待たれる光ファイバー網

市長 慎重にあらゆ
る方法を検討する。

その他の質問

- 統合給食センター
における地場産品
の利用
- 高齢者への火災警
報器の設置助成
- 病後児保育への対
応について

広島招致検討委員会への参加は

2020年夏季五輪

市長／市としての方向性を見きわめる意味で参加



前重 昌敬 (絆)

前重 広島市が招致を検討する2020年夏季五輪の招致検討委員会へ安芸高田市として、これまでの会議などへの出席は。会議へ参加しているのであれば、今日の方角へ至った経緯、経過は。



オリンピックメイン会場イメージ図 (広島市提供)

市長 広島市長からの参加要請を受け4回出席している。隣接する本市として誘致を検討するに至った理念、経緯等について把握しておく必要があると判断し、基本計画等について説明を受けている。

前重 安芸高田市として、今後その招致検討委員会への参加は。
市長 方向性を見きわめる意味で、今後参加。

合併支援道路

これからの取り組みは

市長／県に継続的に働きかける



赤川 三郎 (新政会)

働きかける。

赤川 林道「戸島」入江線」も復活事業

赤川 一般県道「原田」吉田線」計画中途で中断。復活事業として地元説明会やその後の事業計画と取り組みは。

市長 合併後は合併支援緊急道路として事業推進していたが、県財政悪化で18年度から事業中止となっていた。市の重要路線と強く要望。県は再び整備実施路線に位置付け、復活事業として取り組む予定。今後も県へ継続的に



早期改良を (県道原田・吉田線)

として今後の計画、取り組みは。
市長 地権者の方から土地使用承諾書や工事施工同意書をいただし、計画路線内の赤柴山湿原の自然環境調査中。23年度から実施設計に着手予定。

青原 市において少子高齢化対策は重要課題であり、ワクチンの無料接種化についての考えは。

市長 現在、予防接種法に基づく定期予防接種は全額公費助成となっているが、



青原 敏治
(あきの会)

予防接種

ワクチン無料化は

市長／子宮頸がん予防接種無料化に

青原 市の取り組みが見える形を。また、これが23年度予算にどのように反映されているか。

子宮頸がんの予防接種は努力義務となっている。子育て支援として大切なことと認識し、無料化に取り組みたい。

市長 23年度予算はまだ予算要求の段階だが、子宮頸がんの予防接種について過去4年間分の予算計上を考えており、来年度から実施することを約束したい。



予防接種の充実強化

入本 「ワンストップ総合窓口」のスタートで休日の窓口

市長 国に肥料登録申請後は、堆肥センターと連携し可能な限り循環型農業の構築を目指し、多くの市民・農家に、堆肥（園芸用）としても利用いただきたい。

入本 清流園汚泥再処理センターは4月1日から稼働し、農業肥料として利用する計画を伺う。



入本 和男
(あきの会)

清流園

汚泥を肥料として利用する計画は

市長／農業、園芸に利用

を行えば、相談や手続きに利便性があると思うが。

市長 職員の「まごころ代行サービス」

入本 「あきたかたのたから」の特産品販売支援は。

市長 現在21グループ・43品目が認証され、個々の商品力強化、広島市内、観光地、ネット販売等の支援を考えている。

で対応し、開設は考えていない。



認定特産品の一例

議会報告会実施

主催 安芸高田市議会

議会改革の一環として11月17日(水)から19日(金)までの3日間20人の議員が3班に分かれ市内6会場で議会報告会を行った。

◎開催の目的

議会の活動状況を報告し「市民に開かれた議会」を目指して

— 報告会の内容 —

報告事項

〔議会のうごき(3常任委員会の調査・審査)について〕(要旨)

◎ 総務企画常任委員会



・行財政改革に関して

地方交付税が年々減少し、市の財政もますます厳しい状況。

コスト削減や民間活力の活用、新たな財源確保への取り組み。

・給食センター整備に関して

23年4月稼働に向けて、施設規模・使用食材・就労者数など。

(市内保育所、幼稚園、小・中学校対象)

・公共交通に関して

22年10月より市内全域で実施となった「デマンド交通(予約乗合タクシー)」の新たな公共交通体系の確立に向けた取り組み。

議会改革めざして!

◎文教厚生常任委員会

- ・市民総ヘルパー事業に関して
高齢者福祉の充実、自主防災のあり方など市民がお互い支え助け合う（自助、共助、公助）考え方、しくみ。
- ・幼保一元化検討事業に関して
公立の保育所・幼稚園機能の一体化に向けて検討されている。
市は現在保育所規模適正化計画を策定中。（計画は22～31年度の10年間）
- ・救急医療体制整備の関係
市は中核病院である J A 吉田総合病院と連携して救急医療体制の整備や医師不足などの人材確保に取り組んでいる。特に J A 吉田総合病院の「休日夜間救急診療所」の運営への財政支援をしている。
- ・学校規模適正化、耐震化の関係
各学校の「耐震診断」に基づき、必要に応じて「耐震補強工事」をしている。
学校規模適正化については、市民の意見をもとに23年3月には計画が策定される。
（計画期間は23～27年度の5年間）これらについて問題点など。

◎産業建設常任委員会

- ・地産地消について
市は22年度「地産地消行動計画」により、市内農産物の安定生産、流通消費の方針を示した。特に給食センターの23年度開設に伴う食材調達、多品目安定供給などの問題点、課題。
- ・有害鳥獣対策について
激増する鳥獣被害の防止対策について、捕獲班に対する支援や集落単位・個人対応による防護柵設置など、農家の生産意欲向上、耕作放棄地の減少を図り、農業振興に向けた取り組み。
- ・入札、契約制度について
公共事業の削減など、建設業界においては厳しい状況にある中で、地場産業の活力を生み、地域経済の活性化のためにも市内業者に適した制度を求めて。



市民の生の声を

「換会」での主な意見や質疑

八千代会場 八千代文化施設フォルテ

11月17日(水) 午後7時～8時40分 出席者28名



- 人権多文化共生推進室について委員会
はどのような調査をしているか
- 竹原市は議員定数を14人としたが、
本市の議員定数をどう考えているか
- 政務調査費を今後どう考えているか
- 複式となりつつある小学校の今後は
- 通学路に危険個所が多い、優先的に整
備すべき
- 今の経常収支比率であと4・5年先ま
でいって本当に大丈夫か
- 政務調査費を請求しない議員は必要
ないのか、あるいは活動していないのか

向原会場 向原公民館

11月18日(木) 午後7時～8時30分 出席者33名



- 21年度決算のうち、市内に本社のある
企業にもたらされた額はいくらか
- 国からの地方交付税の額は
- 市財政の長期的なビジョンを議会はど
う考えているか
- 本会議を支所の議場で開催してほしい、
持ち回りの開催も提案する
- 議会中継を支所のロビーで見れるよう
希望する
- 22年度の負債総額は
- 給食センターでは手作り重視の献立・
調理を希望する

美土里会場 市役所美土里支所

11月19日(金) 午後7時～8時30分 出席者15名



- 報告会に地元議員の出席を要望する
- 政務調査費の報告が広報誌だけでなく
議員個々で報告されるべき
- お太助ワゴンが夕方に吉田へ帰る際に
乗車できる方法はないか
- バスについて、通勤時・帰宅時に見か
ける車の殆どが回送であるが、利用方
法はないか
- 横田診療所が民営化となることだが、
へき地医療のへき地が除外されると困る
- 地元議員が主体（企画して）で開催し
てほしい

意見交換会で

議会報告会における「意見交

高宮会場 高宮田園パラッツオ

11月17日(水) 午後7時～8時20分 出席者23名



- 政務調査費が未申請の議員がいる中で、この必要性は
- 竹原市の例から議員定数削減はあるか
- 年度末で廃校になる高宮高校の利活用についての考えは
- 報告会は議会の活性化につながるので、継続してほしい
- 小・中学校の統廃合は
- 認定子ども園の考え方は
- 議長交際費の見舞金・お祝金の額の詳細は
- 学校統合と耐震化の状況は

甲田会場 甲田文化センターミュージズ

11月18日(木) 午後7時～8時50分 出席者29名



- 合併特例債は金を借りるばかりで行き詰まっている、地域へお金が落ちるような運営が必要
- 市外の不登校児童・生徒を受け入れすることはできないか
- 市民総ヘルパー構想の詳細を知りたい
- 有害鳥獣食肉加工施設の設置には多額の資金が必要、悪い例も視察すべき
- 有害鳥獣対策で、中山間地域補助金に該当しない地区への協力を
- 結婚サポート事業は、イベント開催だけでなく参加者に密着した後押しを

吉田会場 市民文化センター

11月19日(金) 午後7時～8時30分 出席者28名



- 大きな工事に地元業者が参加できない現状がある
- 行政改革による借金返済は順調に進んでいるのか
- 委員会の視察は広報誌でわかるが、政務調査費による視察の中身が見えない
- 議員定数が多いと感じる、現在議員定数何人で検討しているか
- 女性議員1人のため、女性の声が議会に届かない
- 各市営プールによって利用方法に違いがある

第4回臨時会

11月29日、22年第4回臨時会を開催。

提出された2議案と議員発議4件を審議し、すべて原案のとおり可決。

給与条例の一部改正

職員の給与減額

440人で約5000万円減額

- ・55歳を超える職員は一定率で減額（△1.5%）
- ・期末勤勉手当（ボーナス）の引き下げ（△0.2月分）
- ・さらに、中高年層の棒給表を引き下げ改定

可決

議員発議

議員報酬減額

20人で158万円減額

- ・期末手当（ボーナス）の引き下げ（△0.2月分）

可決

国への意見書提出を可決

◎特措法に基づく基金の早期創設と口蹄疫被害の全面補償を求める意見書

要旨 今回の口蹄疫の蔓延拡大は、半世紀前に作られた「家畜伝染病予防法」が今日の家畜の現状にそぐわず、対応にも多くの不備が生じた結果引き起こされたもの。再発防止策と、関係者の再建に向けて支援の手立てを講ずることを求める。

◎米価の大暴落に歯止めをかけるための対策を求める意見書

要旨 この数年来、生産費を大幅に下回る米価が続いている中、生産者の努力は限界を超えている。米の需給を引き締め、価格を安定・回復させるため、政府が生産に関らず、過剰米を40万トン程度、緊急買い入れすることが最も効果的である。

◎免税軽油制度の継続を求める意見書

要旨 免税軽油制度がなくなれば農業経営への負担増は避けられず、軽油を大量に使う畜産農家や野菜・園芸農家をはじめ、農業経営への影響は深刻。地域農業の振興と食料自給率を向上させる観点からも、制度の継続は有効である。

ごみ処理コスト

4億1751万円

年間1人当たりごみ排出量 **228kg**

分類によるごみ資源売却収入 **977万円**

芸北広域環境施設組合議会 (きれいセンター)

12月24日、芸北広域環境施設組合議会の定例会が北広島町の開催され、21年度の決算額7億7087万円を認定した。

〈主な収入〉

- 安芸高田市・北広島町負担金 6億6494万円
- 使用料及び手数料 1億905万円

〈監査委員報告〉

入札率について、改正を指摘してからは適正な水準になっている。

- ### 〈主な支出〉
- ごみ処理費 4億1751万円
 - 借入金返済額 3億33万円

また、随意契約の中においても入札に移行できるものを自己評価して洗いなおせば、さらに単価が下がるものが見受けられる。



〈主な質疑〉

Q ごみステーションの設置基準は。

A 1行政区に1か所必ず設置する。住宅の場合は20戸単位で設置。高齢者等の問題があれば検討する。

Q 監査委員に「委託料」1億7465万円の内容について意見を伺う。

監査委員 収集運搬を業務委託され、政治的な判断で踏み込まずにいる。民間と競争すれば良いと思うが口を出せる状況でない。



Q 廃食油を広域で回収する考えは。

A 現在「INE OASA」が年間1万444リットル回収しており、安芸高田市でも回収できるように検討する。

Q 収集業との委託契約に民間参入の考えは。

A ごみの収集業務は公共性を含めた業務であるため委託の形態が望ましいか、今後の課題と思う。

組合議会議員

- 藤井昌之 入本和男
- 青原敏治 秋田雅朝
- 前川正昭

議会 マメ知識

執行部の反問権

昨年の第1回定例会（22年3月定例会）より、一般質問を一問一答方式で行っており、同時に**執行部の反問権**も導入されましたが、この反問権は、答弁者が質問者に対して質問の趣旨を問いただすことのみ認められたものでした。

本来**反問権**とは、一般質問や緊急質問の際に、質問の論点や争点を明確にして論議を深めることができるよう、**質問者に対し答弁者が質問**できるよう定められているものです。

本市議会では、今回の定例会（23年3月定例会）より、本来の反問権である質問者への質問を答弁者に付与するよう規則改正を行います。

より深い政策論争ができることに期待します。

※ 反問権が行使できるのは、市長、副市長、教育長などの特別職に限ります。

議会を傍聴してみませんか

議会の会議（定例会、臨時会、委員会）は、広く市民のみなさんに公開されています。

まだ議会の会議を傍聴したことがない方は、ぜひ一度、会議を傍聴してみてください。

会議の日程等の広報は、会議開催前に、議会事務局が、有線・無線放送、市役所内掲示板、市のホームページ等でお知らせしています。



議会だより「朗読テープ」の貸し出しを行っています

朗読ボランティア「蜘蛛の糸」（代表 芦田道子さん）のご協力により、議会だより朗読テープの貸し出しを行っています。

貸し出し方法等の詳細は議会事務局（42-5621）へお問い合わせください。

議会のうごき …… 23年 第1回(3月)定例会迫る 23年度予算などを審議します

○2月23日から3月18日までを会期として開催予定。

- 本会議 2月23日(水)、3月18日(金)
- 各常任委員会 2月24日(木)、25日(金)、3月1日(火)
- 一般質問 3月2日(水)、3日(木)
- 予算審査 3月7日(月)、8日(火)、9日(水)、14日(月)、15日(火)

※23年第1回定例会の詳細は、市のホームページや通知公報でお知らせします。

シリーズⅠ 議会改革特別委員会の今後の取り組み

委員会スケジュール

項目	期間(月)	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
議会報告会		←→		集約及び今後の方向性				←---→		議会報告会			
議員定数・報酬		←→		協議期間					←→				
政務調査費		←→		団体・市民等意見調査				協議期間		最終とりまとめ			

※1月18日委員会で決定

広島県市町議会議員知事表彰 在職34年受賞おめでとうございます



亀岡 等 さん (現市議会議員 美土里町)

昭和48年(1973)から平成5年(1993)、平成9年(1997)から平成16年(2004)の間美土里町議会議員として、同年合併により市会議員として現在に至る34年間議員として在職され、地域の振興と住民自治の向上に貢献されました。

みなさんのおかげと感謝されています。

表彰規定

県内の市町村議会議員として通算30年以上在職していること
(12月1日基準)

地域のかがやき

吉田 地域で火災警報器取り付け



郷野地区振興会

八千代 土師ダム湖畔さくら保全



桜守プロジェクトボランティアのみなさん

美土里 初釜に集う



美土里町文化協会茶道部

高宮 寒波襲来



主要県道三次・美土里線除雪（房後地区）

甲田 今年も健康で



浅塚地域振興会

向原 農村の守護神 ウシ・トラ 今年ウサギも加勢! 土手に立つ



下としま中央集落会

編集後記

第24号より、平成21年度絵画コンクール「文化財を描こう」に入選された作品を掲載し始めて、本号が最終の掲載の作品です。議会だよりの表紙を飾ってくれた5人はもとより、多くの児童生徒たちが作品出品のため、安芸高田市の文化財に目を向けてくれたことで、ふるさとを感じてくれたと思います。

成長期で感受性の豊かな子どもたちが、成長し都会へ就職・学業にと巣立ったとしても、いつまでもこのふるさとが、懐かしく居心地の良い町であり続けられれば。安芸高田市を良くしたいと、市外より応援もしてくれます。また、故郷に帰り、住民として安芸高田市のまちづくりに貢献していただけることを願います。

地域の全ての環境が、子どもたちの心を揺さぶり、多くのことを学び、学業・スポーツ・人間形成などを構築して大人になります。

今の子どもたちが大人になった時に、人輝く安芸高田市を持續し、引き渡す役割を背負う議会人として責任を重く受け止めたい。

2011年が、平穏で幸せな年でありますように祈念します。
(石飛慶久)

△発行責任者▽

議長 藤井昌之
△議会広報特別委員会▽

委員長 穴戸邦夫
副委員長 石飛慶久
委員 前重昌敬
和前一雄
水戸眞悟
山本優



あきたかた
議会だより
人輝く・安芸高田

第28号 2011(平成23)年2月1日発行
発行者 安芸高田市議会
編集 安芸高田市議会広報特別委員会

〒731-0592 広島県安芸高田市吉田町吉田791番地 TEL(0826)42-5621 FAX(0826)47-0250 http://www.akitakata.jp/